

# CONTENTS

No.261 2020年4月号 草月指導者連盟機関誌

## Newsletter

- 01 Keep Right on Talking! No.69
- 02 Iemoto Review
- 03 One Two Step ⑬
- 04 Sogetsu Textbook 5 Q&A  
Key word "Creation"
- 05 Introduction of  
new Study Group overseas
- 06 Promotional Examinations for the  
*Riji* and the *Komon* degree 2020
- 07 Information

36 30 27 24 22 18 17 7 6 4 2

だから、おしゃべりはやめられない 第69回  
草月指導者連盟メンバーズサイトがオープン！  
支部活動報告 山口県支部展  
百花万葉  
学校いけばな  
勅使河原茜の花「植物の線」  
没後20年企画 勅使河原宏の言葉と花①  
レジュメ FLOWERS BY NAKED 2020／華のおもてなし／理事・顧問昇格試験  
茶室で楽しむ椿のころー「百椿図」に寄せてー  
家元オブジェ装飾作品常設設置／小さないけばな展  
理事顧問倶楽部「先生は見た目も大切！」／桜と車／瞬間の美／Spring Flower Display  
第8回草月Facebookみんなのいけばな展 結果発表  
インフォメーション 本部教室／大阪教室／草月WEST  
カレンダー



表紙・画＝勅使河原茜  
表紙デザイン＝ N.G.inc.  
印刷＝東洋紙業株式会社  
制作協力＝丸紅紙パルプ販売株式会社



発行日＝2020年4月15日 編集・制作＝草月文化事業株式会社 出版部 編集制作室 発行＝一般財団法人草月会  
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 TEL＝03-3408-1154 FAX＝03-3405-4947 E-mail＝members@sogetsu.or.jp

## 第二〇〇回 草月いけばな展 花賛歌

発売中



2019年3月に日本橋高島屋で開催された草月いけばな展「花賛歌」。本書では865名による781作品を収録しています。会場で放映された、いけこみ時の写真も掲載で見応えたっぷり！

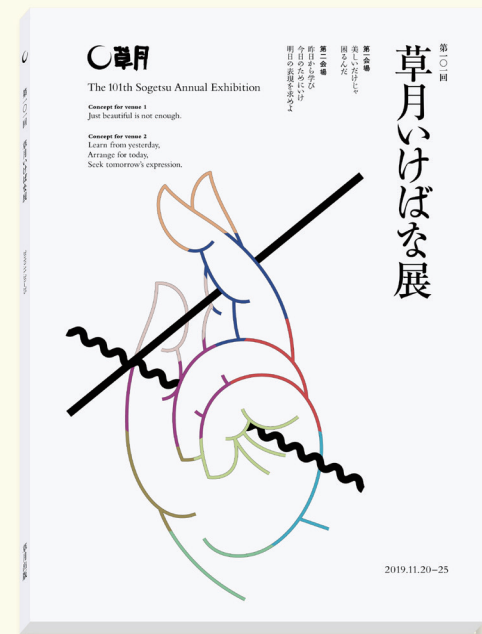
本体価格：4,950円（税込）  
Item No. B8100  
サイズ：214×290mm  
ページ数：144ページ

お待たせしました！ 草月いけばな展・全作品を収録した図録がついに発売

第二〇二回 草月いけばな展

7月1日発売予定

第一会場 美しいだけじゃ困るんだ  
第二会場 昨日から学び 今日のためにいけ  
明日の表現を求めよ



2019年11月に草月会館とスパイラルガーデンの2会場で開催された草月いけばな展。両会場の全作品を掲載しています。

本体価格：4,400円（税込）  
Item No. B8101  
サイズ：214×290mm  
ページ数：104ページ

お問い合わせ・ご注文 [ 出版部 ] TEL：0120-087-202 FAX：03-5770-5607 E-mail：shuppan@sogetsu.or.jp

）  
のたびの新型コロナウイルスの感染により亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、現在闘病中の方々に心からお見舞いを申し上げます。そして、日本だけでなく世界中で目に見えないウイルスと懸命に戦っている大勢の皆さんに心からのエールを送ります。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、今まで当たり前のように行ってきたことができなくなったり、制限され、

たりしています。こんなことは、私のこれまでの60年の人生の中でも初めての経験です。しかしそれは、自らの健康のため、そして他の人々への配慮のための静かな挑戦だと思っています。自分だけではなく、家族や大切な人も同時に守らなければならないのですから、神経質になるのも当然のことですが、私たちは互いへの思いやりや配慮がある社会に生きているのだと信じて、冷静に判断し、行動していきたいですね。

だから、おしゃべりはやめられない 69

勅使河原茜

## 逆境のときだからこそ

皆さんの中にも、「お稽古に行きたいけれど、家族が心配するから……」という方もいらっしゃるでしょう。そして私にも、家族、職場、そして何より大切な会員の皆さんを守る義務があります。だからこそ思いついて、教室ならびに予定していた様々な催しを、当面中止にすることを決断しました。草月のことが大好きな皆さんのことですから、開催すれば行きたい、

気持ちを抑えられなくなってしまうかもしれません。でも、こちら側から中止にすることで、皆さんに無理をさせずにすむと思ったからです。  
そのような状況の中、大手コンビニエンスストアが学童保育施設へおにぎりを無償配布したり、アーティストがライブ映像を無料配信したりと、様々な取り組みを行っています。「草月にできることはなんだろう」

と思ったとき頭に浮かんだのは、花を通じて喜びと安らぎを届けるということ。相手のことを思いながら花をいけるように、国境を超えて支え合い、手を取り合い、知恵を出し合うことで、この困難を乗り越えられるのではないかと考えました。そこで、「SNSでお花見を」と題し、フェイスブックやインスタグラム、ツイッターを通じて、四人の家元による作品の画像や、私のデモンストレーションの動画を配信しました。外出もままならない中、皆さんに少しでも春を感じていただき、元気になつてもらえていたら幸いです。また、全国的に催しの中止が相次ぐ中、3月に日本橋高島屋でのインスタレーション展示を実行できたのは貴重な機会でした。作品をいけながら、私自身も花に慰められ、力を与えられたように思います。

こんなときだからこそ、人間の力が試されるのかもしれない。もちろん予防に努め、節度を守って行動することは大切ですが、情報に振り回されてばかりいでは、体も心も疲弊してしまいます。重要なのは、どんな状況に置かれても冷静に対応する力です。今はまだ先の見えない恐怖がありますが、必ず終息する日は来ます。外でいけたり、教室ができなくなったりしている代わりに、自宅で基本花型をイチから復習して作品をSNSにアップしている方もいらっしゃると思います。こんなふうに逆境をポジティブに転換できた



3月17日、「SNSでお花見を」と題して、家元のデモンストレーションがYouTubeで公開されました。これを皮切りに、草月流の公式SNSでは茜家元と歴代家元によるいけばな作品を発信しています。

(家元によるデモの動画は以下のQRコードからも開くことができます)



ら、どんなに素晴らしいでしょう。花をいける穏やかな日常が戻ることを願いながら、どうぞ毎日を健やかに過ごしてください。

それまで一緒に頑張りましょう！





※画面はイメージです。

## Point 1

### 機関誌「草」の閲覧

262号より『草』の閲覧が可能となります。



## Point 2

### 登録情報の確認

本部に登録されている  
ご自分の情報が確認できます。



## Point 3

### 会員証として

スマートフォンやタブレットにも対応。  
会員証としてご提示いただけます。

# 草月指導者連盟 メンバーズサイトが、 2020年6月にオープンします！



## 今後のスケジュール

2020年  
6月初旬

①

6月1日発行の機関誌『草』262号(6月号)にて、  
メンバーズサイトの操作方法をお知らせします。

②

会員の皆さまへ、メンバーズサイトのパスワードを本部より郵送します。  
**重要な書類ですので、大切に保管してください。**  
※パスワードがお手元に届かない場合は、会員サービス部へご連絡ください。

③

「草月指導者連盟 メンバーズサイト」オープン！  
パスワードを使って専用サイトに入り、各サービスをご利用ください。

便利に、快適に

草月流の新しいホームページがオープンして半年、いち早く草月の情報をキャッチできる場として、これまで以上に活用いただいていると思います。

この度、会員の皆さま限定で新しいサービスがご利用いただける「草月指導者連盟 メンバーズサイト」が2020年6月初旬にオープンします！

6月から利用できる初期サービスとして、個人情報確認、機関誌『草』の閲覧(262号より閲覧可能)、本部からのお知らせ、などの機能が、日本語、英語、中国語に対応しています。

さらに今後、会費のクレジット決済や、書籍のインターネットショッピング、各自での個人情報変更などの機能追加も予定しています。

ご利用にはパスワードが必要となります。6月初旬に本部より郵送されますので、お手元に届きましたら大切に保管してください。ご利用方法は、次号の機関誌『草』262号(6月号)にてお知らせします。



世界らん展2020—花と緑の祭典—

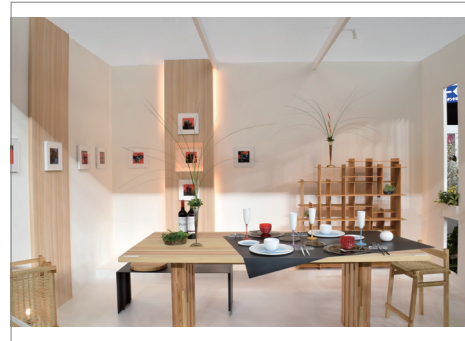
2020年2月14日～21日  
東京ドーム  
写真作品：東京南支部 ステージプログラム出演：澤田晃映、深澤隆行、東京南支部



日本いけばな三大流派コーナーにて大作を展示した他、ステージプログラムとしてデモンストレーションを披露した。

テーブルウェア・フェスティバル2020～暮らしを彩る器展～

2020年2月2日～10日  
東京ドーム  
竹中麗湖



各界の著名人がおもてなしの食空間を提案するコーナーで、竹中麗湖さんによるテーブルセッティングが紹介された。

伝統文化体験

2018年8月15日～20日  
神奈川／さいか屋藤沢店催物場  
上原瑞光



百貨店の催物場に、華道、茶道、書道等の体験コーナーが設けられ、いけばなワークショップの背景にいけばなを展示。

お花の通販会社に動画で協力

2018年8月～  
(プロジェクト名) hanaike  
大谷双香



花を通販し、その花のいけ方を動画で指導するプロジェクトがスタートし、クリエイターの1人として参加した。

駅に飾る

2012年6月1日～継続中  
東京メトロ小竹向原駅  
平岩杏菜



駅の構内に不定期に展示。花が好きなメトロ職員の方々には、花展のチケットを渡すこともあり、喜ばれている。

トヨタカローラ店にいける

2018年12月26日～2019年1月16日  
徳島／トヨタカローラ藍住・板野店  
新田陸嘉



タイトル「突き抜ける力降る注ぐ光」として展示された。夜間も外から見えただけの企画でライトアップされ、大好評。

駅構内に展示

2018年12月1日～31日  
宮崎／JR日豊線佐土原駅  
坂元清草



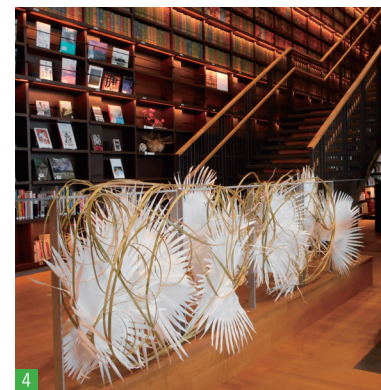
長年継続中の駅構内での展示。近所の方からつるうめもどきをご提供いただき、クリスマス花で楽しんでもらった。

会社ロビーに花いけ

2018年11月6日～9日  
東京／(株)UKCホールディングス ロビー  
島田南吹



紅葉の時期に秋の枝のものと花々を、会社の顔であるメインロビーに。秋のひとときを感じてもらい、好評だった。



1 支部大作。地元の総合化学工業メーカー、株式会社トクヤマとコラボし、会社のロゴからイメージした輪切りの竹を取り入れながら制作した。  
2 夜にはライトアップも。  
3 カフェ前にも作品を展示。  
4 5 6 7 図書館の各所に展示された作品。宝探し感覚でいけばなが楽しめる。  
8 草月の書籍と鉄花器の販売ブースも設けられた。

竹の可能性を再発見

書店やカフェを併設するなど、画期的な図書館として注目を集める周南市立徳山駅前図書館二周年を記念する「周南ささらぎ文化祭」の一環として山口県支部展が開催された。竹害が問題となっている周南市と(株)トクヤマの協同企画で、竹の有効利用が目的。作品は全て周南市内で伐採された竹が使用され、その後、竹バイオマス発電として有効利用される。支部大作では孟宗竹のみを使用し、太くダイナミックな直線と輪切りの竹で豊かな表情を見せた。個人作は図書館内での展示のため水が使えず、花席も柱まわり、本棚、手すり等様々。いつもとは勝手の違う環境の中、安全対策や設置方法に腐心しながら、各々の創造力を発揮した。テレビや新聞などにも取り上げられ、放映をきっかけに足を運んでくれた方もいた。

山口県支部展

「徳山駅前真・竹取物語」  
竹から生まれたのはかぐや姫だけじゃなかった

2月14日～23日  
周南市立徳山駅前図書館



<p><b>コンサートを彩る</b></p> <p>2019年5月30日 東京／杉並公会堂小ホール 播野翠翠</p>  <p>川口京子さんによる、日本の愛唱歌を唄うコンサートに、舞台花を、曲のハーモニーと交わって癒やされると好評。</p>	<p><b>領事館にいける</b></p> <p>2019年5月28日・29日 ドイツ／在シュトゥットガルト日本国名誉領事館 田吹侯子</p>  <p>天皇陛下御即位の祝賀記帳が実施された際に祝い花を。領事館に出入りする多くの方に足を止めて見ていただいた。</p>	<p><b>山根恵彰社中展「花遊」</b></p> <p>2019年5月25日・26日 福井（敦賀市）／プラザ萬象小ホール 山根恵彰社中</p>  <p>3年ごとに開催している社中展。広い会場をいかし、竹を立てて構成。草月陶房で制作した14点の自作花器を使用。</p>
<p><b>華画装Ⅲ</b></p> <p>2019年5月31日～6月4日 群馬／高崎シティギャラリー 青柳良寒 他2名</p>  <p>数種類の本や蔓で「木々の調和」と、周囲の絵等との調和を考えながら制作。「高原のように爽やかな雰囲気」との嬉しい声も。</p>	<p><b>第68回オール愛知いけばな展</b></p> <p>2019年5月31日～6月3日 愛知／松坂屋名古屋店南館8階 草月15名</p>  <p>愛知ではいちばん古く、歴史ある花展。写真は、からたち、ゆり、モカラ、折り紙等を使った増井秀晶さんの作品。</p>	<p><b>花回廊 春秋おもてなし</b></p> <p>2019年5月31日～6月2日 相鉄ライフ三ツ境コミュニティスペース 崎本扇萌 他14名</p>  <p>駅に隣接したショッピングセンターでの茶華道協会展。個性ある作品群が、会場内を巡る買物客の目を楽しませた。</p>
<p><b>第53回福岡市華道展</b></p> <p>2019年6月6日～9日 アクロス福岡 草月20名 写真作品：片山健</p>  <p>昭和42年より続く華道展で、21流派が一堂に揃う。「親子体験教室」や「勇前いけばな体験」等といった企画も。</p>	<p><b>日本の伝統を守る会 定時会員総会</b></p> <p>2019年6月4日 東京（千代田区）／弘済会館 平塚恵春</p>  <p>会の会長がお好きだというあじさいをメインに制作。涼やかで季節に合っていると会員の方々からも好評だった。</p>	<p><b>紫風颯颯</b></p> <p>2019年6月1日・2日 埼玉（川越市）／小江戸蔵里 展示蔵 斉藤紫文社中8名</p>  <p>一人ひとりが思いを込めた個人作とダイナミックな合作により、紫の風が爽やかに吹きわたるような空間が生まれた。</p>

<p><b>横山幸雄ピアノリサイタルにいける</b></p> <p>2019年3月2日 アクロス福岡シンフォニーホール 山口松苑 他3名</p>  <p>1800の客席は満席。オール・ショパン・プログラムに合わせてイメージし、白の花材を基調にした優美な作品をいけた。</p>	<p><b>ジムのオープンを彩る</b></p> <p>2019年2月2日 東京／ZERO GYM SHINJUKU 大園彩芳</p>  <p>新規オープンするジムに設置するオブジェを制作。雲竜柳と流木で空間を意識しつつ、ジムのロゴマークを表現した。</p>	<p><b>文殊祭にいける</b></p> <p>2019年1月20日～2月1日 高知／五台山 竹林寺 井上佐芳・常石春紅・濱田青芳</p>  <p>椿、ブルーアイス、ゆり、菊、着色木で軽やかな雰囲気に。恒例となっており、写真を撮る方も。</p>
<p><b>パラオ共和国にいける</b></p> <p>2019年4月16日～20日 在パラオ日本大使館 横井紅炎</p>  <p>デモ、ワークショップ、いけばなコンテストを開催し、多くの人が参加。現地に「いけばな」という言葉が浸透し、新聞への掲載も。</p>	<p><b>多治見市陶磁器意匠研究所卒業式</b></p> <p>2019年3月8日 岐阜／多治見市陶磁器意匠研究所 古田静波</p>  <p>卒業生の門出を祝い、同研究所OGの花器にいけた。これから羽ばたき、成長する姿を伸びやかな線で表現。</p>	<p><b>京都名流いけばな展</b></p> <p>2019年2月19日～24日 JR京都駅新幹線コンコース 草月5名 写真作品：花崎陽文</p>  <p>新幹線京都駅で人が集まるコンコースに展示。京都を訪れた方、特に外国からの旅行者に喜んでいただいた。</p>
<p><b>スキヤリビングカルチャーツアー</b></p> <p>2019年5月23日 KBS京都 平石丹珠萌・小倉丹珠照</p>  <p>アメリカのスキヤリビング社の社長の企画で、文化意識の高いグループの方々12名にデモを楽しんでもらった。</p>	<p><b>Surprise! Sogetsu Ikebana Exhibition</b></p> <p>2019年5月10日～12日 カナダ／Keshen Goodman Public Library Miyako Ballesteros 虹都 他11名</p>  <p>図書館のオープンスペースで展示会を開催。現地の方々の庭の枝ものを活用し、いけばなの身近な可能性を広める機会に。</p>	<p><b>俳句会展を彩る</b></p> <p>2019年4月17日～19日 さいたま市市民活動サポートセンター 小堀香水</p>  <p>短冊に重ならないよう、横に広がりを持たせ制作。短冊の無表情な空間に灯をともしたかのように、静かで上品なムードになった。</p>



<p><b>百貨店開店60周年記念にいける</b></p> <p>2019年6月21日～27日 東武宇都宮百貨店 栃木県支部</p>  <p>百貨店内の3ヶ所にフラワーを実施。支部として初めてファッションとコラボし、Y'sの商品のディスプレイにも挑戦した。</p>	<p><b>初夏のいけばな展</b></p> <p>2019年6月15日・16日 高知市文化プラザかるぼーと 高知県支部</p>  <p>初夏らしい花々を使った作品が並び、落ち着いた展示空間となった。写真は光富崩華さんによる作品。</p>	<p><b>第27回かすが芸術祭</b></p> <p>2019年6月15日・16日 福岡／春日市ふれあい文化センター 草月2名 写真作品:井上雅染</p>  <p>どの部門も指導者レベルの出品のみとされる芸術祭。見ごたえのある作品が並び、大勢の来場者で賑わった。</p>
<p><b>町屋カフェにていけばな展示</b></p> <p>2019年6月29日・30日 岐阜／川原町屋 山室沙白・山室慶祐</p>  <p>長良川沿いの町屋カフェの土蔵内に展示。ピアノ演奏とのコラボもあり、好評のうちに終了。『次回もぜひ!』と依頼された。</p>	<p><b>留学生によるいけばなおさらい会</b></p> <p>2019年6月22日 愛知／国際留学生会館ソーシャルルーム 指導:草月21名</p>  <p>いけばなを通じての国際交流。開館30年目の今回は、歴代の講座、ホームビジット、おさらい会の写真約100枚を壁に掲示した。</p>	<p><b>結婚式の祝い花</b></p> <p>2019年6月22日 鹿児島／THE GRAND HOUSE 米満暁苑</p>  <p>中学生から暁苑クラブに在籍している方より結婚式の祝い花の依頼を受け、晴れの日にふさわしい華やかな花に。</p>
<p><b>デパートを彩る</b></p> <p>2019年7月3日～9日 鹿児島／山形屋 玄関 福島草峰</p>  <p>竹、つるうめもどき、ゆり、洋種やまごぼう、山にしきぎで、デパートの玄関を上品に彩った。</p>	<p><b>図書館に七夕作品</b></p> <p>2019年7月2日～15日 青森／五戸町図書館エントランスホール 美寿 フラワーアート</p>  <p>図書館のエントランスの高さのある場に存在感のある七夕作品を、再利用や地元との協力を得て予算をかけない工夫をした。</p>	<p><b>赤と黒のハーモニー</b></p> <p>2019年7月1日～30日 東京(足立区)／珈琲 茶居留都 小林泉華(華の会)</p>  <p>支部の講習会で学んだレリーフを教室でも制作し、喫茶店のギャラリーに展示。レトロな雰囲気とよくマッチした。</p>

<p><b>初夏を彩る</b></p> <p>2019年6月8日・9日 山形県芸文美術館 山形県支部山形地区</p>  <p>会員が作った花器にけるコーナー、教科書をいけるコーナー等、変化に富んだ構成に。草月いけばなの楽しさを発信した。</p>	<p><b>四日市アート展2019</b></p> <p>2019年6月7日～9日 三重／四日市市文化会館 熊本梨里 他草月5名</p>  <p>毎年開催されるアート展。草月は染色作家の方とコラボ。藍染のタペストリーに竹を組み合わせ、初夏らしく爽やかな雰囲気に。</p>	<p><b>第10回グループ「草」いけ花展</b></p> <p>2019年6月7日～9日 愛知(豊橋市)／Gallery垂鳥絵 草月10名</p>  <p>オーナーさんご厚意で個々にスポットを当ててくれたことで、作品が際立った。照明の効果を改めて実感。</p>
<p><b>親子いけばな体験</b></p> <p>2019年6月9日・16日・23日 東京(渋谷区)／千駄ヶ谷社会教育館 今村草玉</p>  <p>渋谷区主催の親子いけばな体験。子どもたちは皆意欲的で、自由に伸びやかな作品が完成。大きな反響を得た。</p>	<p><b>平安神宮献花会月例献花展</b></p> <p>2019年6月9日～10日 京都／平安神宮額殿 田中丹静珠・バイメル律子・平石丹珠門</p>  <p>平安神宮への月例献花展に出品。同じ素材を使いつつも雰囲気の違う3作のコントラストが訪日観光客等の興味を引いた。</p>	<p><b>第21回草月四季の会いけばな展</b></p> <p>2019年6月8日・9日 富山／南砺市福野文化創造センターヘリオス 富山県支部 四季の会</p>  <p>テーマは「ASOBOU」。巨大な額縁で魅了。アルミ、銅の異質素材に200本のグロリオサで令和の新時代をお祝いした。</p>
<p><b>富安晃苑社中展</b></p> <p>2019年6月15日・16日 愛知／岡崎市南部地域交流センター・よりなん 富安晃苑社中</p>  <p>テキスト5の「技術と創造」を経て目指す花展。意欲に溢れた大作が並んだ。抹茶によるおもてなしも行い、有意義な時間に。</p>	<p><b>ピアノといけばなコラボレーションLIVE</b></p> <p>2019年6月15日 埼玉／川口総合文化センター リリア 大川春雪</p>  <p>クラシック専用の音楽ホール。荘厳なパイプオルガンバルコニーに後ろいけでいた。ピアノ演奏とのコラボも。</p>	<p><b>鸟语花香</b></p> <p>2019年6月11日～17日 中国／広州皇朝御苑酒店 崔潤梅</p>  <p>「父の日に」と題し、ストレリチア、竹、ひまわり、胡蝶蘭、オンジウムなどを使って、元気になる作品に。</p>



<p><b>レットトライ! いけばな</b></p> <p>2019年7月27日 神奈川(川崎市)／世喜会館 指導:上野静勝</p>  <p>子どもたちが初めてのいけばなに挑戦。目を輝かせながら花と向き合う子どもたちは、完成作を前に満面の笑みを浮かべていた。</p>	<p><b>近代書道芸術院展に会場花</b></p> <p>2019年7月26日～29日 埼玉会館 藤本遙染</p>  <p>ガラス花器に優しい曲線を描き、ピンクと緑の世界に。暑さが厳しい折に、いけばなで清涼感を運んだ。</p>	<p><b>写真展を彩る</b></p> <p>2019年7月23日～28日 茨城／日立市角記念市民ギャラリー 草月8名 写真作品:萩谷麗清・河合瀧楓</p>  <p>写真展に装飾花を添えて会場を盛り上げた。来場者から「写真展を華やかに引き立てている」との声をいただいた。</p>
<p><b>第65回広島平和美術展</b></p> <p>2019年7月31日～8月5日 広島県民文化センター 地下展示室 草月19名</p>  <p>今年で65回目となる広島平和美術展。平和が続くよう、出品者全員で願いをこめながらいけた。</p>	<p><b>テレビドラマの制作発表に</b></p> <p>2019年7月31日 ANAインターコンチネンタルホテル東京 本間双女</p>  <p>テレビドラマでのフラワー監修。劇中だけでなく、制作発表会の花も依頼され「ドラマのイメージにぴったり」と喜ばれた。</p>	<p><b>HUTEC大学日本語学部特別文化講座</b></p> <p>2019年7月27日 ベトナム(ホーチミン)／HUTEC大学 永井裕達 他</p>  <p>日本語学部で学ぶ学生を対象に、日本文化紹介と交流会を実施。いけばなを通じて日本の精神性や生命を慈しむ心を伝えた。</p>
<p><b>日本文化フェスティバル</b></p> <p>2019年8月5日～12日 ロシア／エリツィン記念教育センター 松村魚瑛 他2名</p>  <p>日ロ交流協会から派遣され、4ヶ所でデモ、2ヶ所でワークショップを実施。日本文化への関心は高く、デモには200人が集まった。</p>	<p><b>ホテルでフラワーク</b></p> <p>2019年8月1日～31日 京王プラザホテル札幌 北海道支部 草和会</p>  <p>テーマは「8月のシンフォニー」。京友禅染めされたみつまた等でホテルを訪れた人を迎え、国内外の方々の興味を引いた。</p>	<p><b>初めてのいけばな</b></p> <p>2019年7月 埼玉(久喜市)／ジュニアクラス ながほり光湖</p>  <p>4歳の女の子に指導。お兄さん、お姉さんのお稽古時のお迎えについて来ていたこともあり、抵抗なくいけられた様子。</p>

<p><b>山口県と伝統工芸1-漆工・染色・和紙-</b></p> <p>2019年7月9日～9月8日 山口県立秋美術館・浦上記念館 金子凜草</p>  <p>伝統工芸展で展示される和紙、染色品の原材料となる植物素材を使用して制作。新しい展示として美術館にも来場者にも好評。</p>	<p><b>第44回福岡県華道代表作家展</b></p> <p>2019年7月9日～14日 福岡／櫛田神社 恵比須会館 草月5名 写真作品:片山紅早</p>  <p>公益財団法人日本いけばな芸術協会の代表45名で3回に分けて出品。協賛の博多祇園山笠の祭りに華を添えた。</p>	<p><b>東京五輪事前キャンプに</b></p> <p>2019年7月5日～15日 山形／村山市民体育館 大場仙華</p>  <p>ホストタウン事業でブルガリアの新体操チームを迎えるのも今回で3回目。新体操の躍動感、美しさ、メダルへの期待を表現。</p>
<p><b>照國神社 六月燈</b></p> <p>2019年7月15日・16日 鹿児島／照國神社境内 鹿児島県支部</p>  <p>夏に県内各地の神社で行われる六月燈。中でも最大規模の賑わいをみせる照國神社に献花。参拝客に喜ばれた。</p>	<p><b>第9回日南文化フェスティバル</b></p> <p>2019年7月14日 宮崎／日南市文化センター 平澤沙香社中</p>  <p>文化芸術協会加盟の20団体による舞台発表と展示に、社中で出品。全員で心をひとつにして、楽しみながら表現した。</p>	<p><b>彫刻展にいける</b></p> <p>2019年7月11日～15日 徳島／徳島県立近代美術館 ギャラリー 藤目順子・板井修子・岩生京子</p>  <p>徳島彫刻集団の四宮達司氏より、個展で草月とコラボしたいとの依頼。水や生の植物を使えない会場の環境をいかした作品に。</p>
<p><b>老人ホームでデモンストレーション</b></p> <p>2019年7月21日 神奈川(川崎市)／ネクサスコート久地 藤田優華・大園芳雪・高畑己緋紗</p>  <p>老人ホームの月例誕生日会で3名が1作ずつデモを開催。質問が活発に出る等盛り上がり、作品をカメラにおさめる方も。</p>	<p><b>幸草会グループ展</b></p> <p>2019年7月20日・21日 岩手銀行 赤レンガ館 多目的ホール 岩手県支部 幸草会</p>  <p>歴史的建造物に、草月五十則の「環境から生まれたように」をテーマにグループ展を開催。いけこみ風景も公開し、好評を得た。</p>	<p><b>PMI Japan Forum</b></p> <p>2019年7月20日 東京(千代田区)／如水会館 豊田光霞</p>  <p>PMIアメリカ本部発足50周年を記念し、CEOが来日。交流会に竹の大作2作をいけ、日本らしさを表現した。</p>



<p><b>リースに込める童うた</b></p> <p>2019年9月9日～13日 大分／佐伯市役所1階展示室 佐倉洋佳社中</p>  <p>童うたをテーマに壁作品と床上がりの2部構成に。童うたを印刷したものを作品に付けて展示。来場者を和ませた。</p>	<p><b>花遊び in 蔵 2019～一日限りの花展～</b></p> <p>2019年9月8日 北海道教育大学アーツ&amp;スポーツ文化複合施設HUG グループフリーデル</p>  <p>グループの11回目の花展を石造りの蔵で開催。ほぼ黒の鉄花器を使用し、21人の会員が個性をいかしながら制作に取り組んだ。</p>	<p><b>ソニー華道部陶芸教室</b></p> <p>2019年9月8日 埼玉／飯能窯 林萩赤</p>  <p>毎年夏にいけばなの授業の一環として陶芸教室を計画。各々が独自のデッサンに基づいて粘土と戯れ、花器制作を楽しんだ。</p>
<p><b>第39回久留米連合文化会会員華道展</b></p> <p>2019年9月16日～19日 福岡／久留米シティプラザ展示室 草月24名</p>  <p>会場が変わり入場者数が心配されたが、2千人を超える人出となった。写真は、一際注目を浴びた井上秀芳さんの作品。</p>	<p><b>古民具にいける</b></p> <p>2019年9月14日～23日 ぐんまフラワーパーク 草月5名</p>  <p>今はほとんど使われていない古い道具に、おとしを入れたり、そのままいけたり。花材はパーク内のものを自由に採取できる。</p>	<p><b>“秋”花添う</b></p> <p>2019年9月14日～16日 茨城／守谷市市民交流プラザギャラリー もりや花の会</p>  <p>守谷市在住の草月仲間での展覧会で、今年で2回目となる。テキスト5のテーマからの作品、基本花型のデモ等、秋を楽しむ内容に。</p>
<p><b>サキソフォンコンサートに花賛歌</b></p> <p>2019年9月21日 大阪YMCA国際文化センターホール 栗原冬俊・清水鈴草</p>  <p>支部研究会で学んだ金・銀箔のモンスター、はらん等をステンレス花器に。グロリオサを踊らせ、楽器と作品を呼応させた。</p>	<p><b>第93回全日本いけばなコンクール</b></p> <p>2019年9月20日～24日 アクロス福岡 草月10名 写真作品：藤嶋鶴苑</p>  <p>初秋の創造性豊かな作品を展示。いけこみが台風と重なり心配したが、期間中は落ち着き、多くの人で賑わった。</p>	<p><b>第83回新制作展</b></p> <p>2019年9月18日～30日 東京(港区)／国立新美術館 藤本信苑</p>  <p>麻、紙、ワイヤーを使って。会場は天井が高く、伸び伸びとした作品となり、2週間にわたって展示された。</p>

<p><b>りふれなーと展</b></p> <p>2019年8月13日～18日 静岡／クリエート浜松 児玉香蓮社中 中村真苑 他</p>  <p>油絵、陶芸、写真、映像の作品の中に木の造形を。変化のある楽しい空間となり、各々の個性を引き立て合った。</p>	<p><b>世界柔道選手権東京大会選手団に向けて</b></p> <p>2019年8月10日～9月8日 東京(千代田区)／エスポートミズノ 谷口千恵子</p>  <p>来日された選手団の皆さんに「和」を感じてもらえるよう竹で装飾。日本武道館での熱い戦いにエールを送った。</p>	<p><b>竹と千羽鶴で献花</b></p> <p>2019年8月8日～10日 長崎原爆資料館 長崎県支部</p>  <p>世界中から資料館に送られた千羽鶴を作品に取り入れ、恒久平和を表現。折り鶴のカラフルな色合いが印象的な作品に。</p>
<p><b>駐日サモア大使にいけばなを</b></p> <p>2019年8月26日 山形／料亭 亀松閣 指導：五十嵐霞祐</p>  <p>山形市が東京2020大会のホストタウンになっている関係で、駐日サモア大使がご来県なされ、いけばなを体験していただいた。</p>	<p><b>信州岩波講座に</b></p> <p>2019年8月17日・24日・9月21日 長野／須坂市文化会館メセナホール 二本松久美子・坂口恭子・米澤好恵</p>  <p>毎年夏季に著名人を講師に行われる講座で舞台花を制作。今回は姜尚中さんや福岡伸一さんをお招きした。</p>	<p><b>新下野関駅にいける</b></p> <p>2019年8月15日～31日 山口／JR山陽本線新下関駅 吉山幸峯</p>  <p>モデルの頭に花をいけ、写真に撮ってポスターに。同じ花材でコラボ作品をいけ、思った以上の反響を得た。</p>
<p><b>宮日会館ロビー展示</b></p> <p>2019年9月2日～8日 宮崎／宮崎日日新聞社1階ロビー 八反幸洲</p>  <p>新聞社のロビーに、つるうめもどき、われもこう、けいとう、とくき等で、秋の訪れを表現。来訪者に和みのひとときを。</p>	<p><b>メルボルンいけばなフェスティバル</b></p> <p>2019年8月31日～9月1日 オーストラリア／メルボルン・リサイクル・センター他 新保道滄 他</p>  <p>いけばな振興を図り、複数流派によるフェスを開催。花展、デモともに好評で、グリゴリアンブラザーズとの舞台も満員に。</p>	<p><b>JINS香港 K11 MUSEA</b></p> <p>2019年8月26日～約半年 香港／JINS K11 MUSEA店 吉元創輝</p>  <p>JINSの香港の新店舗オープンに伴い、店舗中央に制作。眼鏡レンズ1000枚と年輪の入った木のブロック4000個を使用した。</p>



● 学校 い け ば な

文化祭に出品

東京都立秋留台高等学校  
指導：野口蛍水



毎年文化祭に出品しています。今回は個人作品15点、高校3年生による合作を1点展示。保護者の方々を含め、来場者から好評でした。

華道部作品展示

岩手県立盛岡第三高等学校  
指導：種市交春



文化祭で華道部は個人作品、合同作品、ポプリ販売などを行いました。合同作品のテーマは「アリスのティーパーティー」。ティーカップを使い、楽しい作品に。

竹にいける

鳥取県立境高等学校  
指導：上田美湖



竹に、モンステラ、オンシジウムなどをいけ、合わせて中作に。紫の着色に花材の色がよく映え、皆さんにきれいと言ってもらえました。

秋の文化祭に

福岡／博多女子高等学校  
指導：中川郁紅・川谷恵華



毎年秋に開催される文化祭。華道部では部員が1人1人作ずつけ、さらに玄関に迎え花を制作します。秋の花材を上手に使い、多くの方に見ていただきました。

学園祭テーマ「MAGIC」

東京／白百合学園中学高等学校  
指導：細野葉霞・望月兆霞・関夕霞



華道部員は全部で46名。高校生は普段いける機会の少ない竹作品や、ガラス花器を使った大きな作品に挑戦し、大作の難しさや、協力して作る楽しさを体験しました。

らんほうさい  
鸞鳳祭

神奈川／桐蔭学園中学校・高等学校  
指導：天野麗花



学園祭のテーマは「パズル」。たる木をカラフルに着色してパズルをイメージし、どうだんつつじ、すずばら、ダリアなど季節の花材で会場を彩りました。

クリスマスを楽しむ

東京／足立区立梅島第一小学校  
指導：小林泉華



クリスマスシーズンだったため、リース作りに挑戦。小学3、4年生には難しいかと思いましたが、時間内に終了。「来年もやりたい!」との声が上がりました。

個性豊かに

東京／中野区立第七中学校  
指導：林萩赤



毎年恒例のクリスマスリース作り。生徒たちは楽しみにしてくれているようです。今回もそれぞれに個性のあるリースとなりました。

文化祭を彩る

大分／日本文理大学附属高等学校  
指導：佐倉洋佳



まずは文化祭に向けて壁面に春夏秋冬のリースを制作して展示しました。いけばな作品は玄関付近と二階の広間に。学校を華やかに彩り、文化祭を盛り上げました。

百 花 万 象

HYAKKA-MANYO

ジャカルタでデモンストレーション

2019年9月24日  
インドネシア(ジャカルタ)／太平寺  
竹口陽苑



デモンストレーションを披露。ジャカルタ華道7流派の100名を超える方々にご覧いただき、交流を深めることができた。

文化会館に迎え花

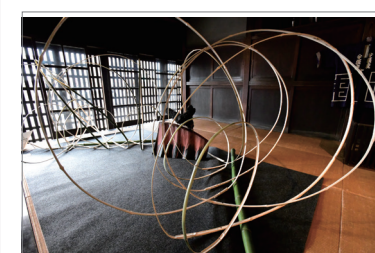
2019年9月23日  
静岡／磐田市民文化会館ホール  
鈴木絹蓮



アジア4ヶ国の子どもたちによるダンスの競演の舞台公演に迎え花を制作。「日本らしい作品だ」と、主催者からも好評だった。

第4回竹内グループ展「林香君を動かす」

2019年9月21日～25日  
栃木(宇都宮市)／旧篠原家住宅  
草月8名



陶芸家・画家の林香君さんの器にいける。美術品のため、おとしやカバーで極力水を使わないように工夫した。

松本市芸術文化祭参加 諸流いけばな展

2019年9月28日・29日  
長野(松本市)／井上百貨店 大ホール  
草月10名



中信華道会のいけばな展、13流派が集い、草月は10作を制作した。写真は桃崎啓美さんによる作品。

第31回草月流勉強会

2019年9月27日～29日  
東京／よみうりカルチャー北千住  
指導：山田翠



授業の一環としてお稽古の花材で制作。場を変えることで、人に見せる・見てもらうことを意識し、手入れや気配りを学ぶ機会に。

第44回西日本華道連盟福岡支部展

2019年9月25日～30日  
福岡／博多阪急7階イベントホールミューズ  
草月20名 写真作品：中村清蘭



令和になり初の華展。「令和元年を寿ぐ」の特別コーナーには、各流が1作ずつつけた。ジュニアコーナーも充実。

第53回チャリティーギャラディナー

2019年10月4日  
シンガポール ホテル・シンガポール  
草月6名



片山健さんを筆頭に、理事5人がデモを実施。さらに、360度ビューイングのステージでシンガポール支部長との合作を披露した。

中国で竹作品を展示

2019年9月29日～11月4日  
中国／南京鵬欣水游城・上海中庚漫游城  
草月5名



中国建国70周年に、両国の友好を願う竹作品を制作。SNSの評判を聞きつけて訪れる方も多数いた。

アンマンでデモンストレーション

2019年9月29日  
ヨルダン／Ghada Bdeirさんの邸宅  
前田早苗



YUUMAスタディグループ主催の草月まつりでデモを行い、130人以上の観客に7作を披露。来賓は在ヨルダン日本大使夫妻他。



## 植物の線



もくれんの枝の線はユニーク。開花すると枝の存在感が薄れるので、つぼみの時の表情をいかしました。  
赤い花器から竜舌蘭の緑を真っ直ぐにつなげた中に、もくれんを楽しく遊ばせました。

The lines made by the magnolia's branches are unique. Once its flowers bloom, the presence of the branches is weakened, so I utilized the aspect while its flowers are still buds. I let the magnolia play enjoyably around the line directly connecting the red vase to the green of the century plant.

花材：竜舌蘭、もくれん 花器：ガラス花器 サイズ：137×45×38cm  
Materials: Century plant, Magnolia Vessel: Glass vase



やまぶきは花や葉のつき方によって、線の動きやリズム感が変わってきます。そんなやまぶきの線を、  
どう魅力的に見せるかを意識しました。紅白の花が同じ株で咲く、“咲き分け”のつつじで口元も艶やかに。

The Japanese rose produces a different movement of lines and a different sense of rhythm, depending on how it bears flowers and leaves. I paid attention to how such lines of the Japanese rose could be shown more attractively. The rim of the vase is expressed flamboyantly with the azalea which blooms similarly - in Japan we call it "Sakiwake" where red and white flowers bloom on the same bush.

花材：やまぶき、つつじ 花器：青銅花器 サイズ：114×150×163m  
Materials: Japanese rose, Azalea Vessel: Bronze vase





濃いめの紫の藤を黒い漆花器に合わせ、色のコントラストと力強さを出しました。  
 藤は垂れ下がって咲くイメージですが、あえて上に向かって立ちのぼる線を強調した作品です。  
 The wisteria in dark purple has been combined here with a black lacquer vase to represent color contrast and strength.  
 The wisteria has an image of pendulous blooming but I chose to emphasize the rising lines towards the top in this work.

花材：藤、リュウココリーネ、ブルーサルビア 花器：漆花器 サイズ：112×42×52cm  
 Materials: Wisteria, Glory-of-the-sun, Mealy cupsage Vessel: Lacquer vase



面を成すように咲くやまぼうしの中にきんぼうじゅを合わせ、色の効果と空間の妙を出しました。  
 きんぼうじゅは1本ごとに表情が異なり、流れるような美しい線を出しやすいのが魅力。大好きな花材のひとつです。  
 While combining kousa, which blooms as if it is forming a surface, with the bottlebrush, and the color effect and space are skillfully expressed. The attractiveness of the bottlebrush is in the way that each branch has a different appearance and it is easy to create beautiful flowing lines – it is one of my favorite flowers.

花材：やまぼうし、きんぼうじゅ 花器：陶器花器（中村豊） サイズ：90×106×86cm  
 Materials: Kousa, Bottlebrush Vessel: Ceramic vase





## 没後20年企画

### 勅使河原宏の言葉と花①

# 自然の花木は

どれもこれも、自由に、のびのび

と、隣の真似などしないで、自分を精一杯に咲かせているではないか。その心をいけばなの心にしなければいけない。いけばなは形式に縛られることなく、形式を生みだす心だ。自然の模倣などはいけばなではない。いけばなとは、即物的な自己表現である。

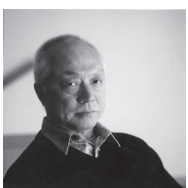
#### Project for the 20th Commemorative anniversary of the Third Iemoto

April 2021 will mark the 20th year since the death of the third Iemoto, Hiroshi Teshigahara. We will introduce of the "Words of Hiroshi" over two years beginning with this issue. Let's unravel where his unconventional and unique way of thinking came from.

All plants and trees in nature bloom freely and spontaneously to their fullest, without copying other flowers. We have to express that spirit of the flowers as the spirit of ikebana. Ikebana is not being bound by forms but the spirit to create forms. Imitating nature is absolutely not ikebana. Ikebana is a realistic self-expression.

2021年4月に没後20年となる第三代家元・勅使河原宏。

これから二年にわたり、草月の大きな遺産である「宏の言葉」をお届けします。常識にとらわれないその発想はどこから来るのか、読み取りましょう。



勅使河原宏 いけばな作品

八重桜、ばたん

自作陶器花器

(1984年5月)

撮影・安齊重男

Ikebana work by

Hiroshi Teshigahara

Flowering cherry, Tree peony

Self-made ceramic vase

Photo: Shigeo Anzai

#### 勅使河原宏

草月流の創始者・勅使河原蒼風の長男として1927年、東京に生まれる。東京美術学校（現在の東京藝術大学）油絵科を卒業したのち、安部公房らの前衛芸術グループ「世紀」に参加。その後、表現の場を映画に移し、映画『砂の女』（1964）ではカンヌ映画祭審査員特別賞を受賞。映画制作に加えて、1958年に発足した草月アートセンターのディレクターとしても活躍する。1980年に第三代家元に就任。いけばなの枠を超えた比類ない芸術として人々に新鮮な感動を与え続けた。さらに、陶芸や書にも才能を発揮し、ジャンルにとらわれない創作活動を晩年まで展開。90年代からは「連花（れんか）」という、新たな手法による即興創作を提唱し、いけばなの可能性を大きく広げた。2001年死去。



## 五感で楽しむ花

**FLOWERS BY NAKED 2020**  
— 桜 —  
1月30日〜3月1日  
日本橋三井ホール

いけばな、映像、香り、音楽など、様々な演出を通して、五感で楽しむ花の体感型アート展として人気の「FLOWERS BY NAKED 2020」桜。5回目となる今回は「桜」の儚い美しさや生命力、自然の中に存在する神秘の数列で会場を彩った。コンテンツの核となる「Hidden Garden」のコーナーでは、ネイキッドの最先端技術と茜家元とのコラボレーションが実現。これまでを超える新たな体験が楽しめるものとなった。



「Hidden Garden」のコンセプトは、「いけばな草月流と共に、光を使い、影をいける、新たな世界へ」。

## 花木が運ぶ春

**華のおもてなし**  
3月4日〜10日  
日本橋高島屋

春の訪れが待たれる中、日本橋高島屋1階正面ステージにて茜家元によるいけばなインスタレーションが展示された。はくもくれんやれんぎょうといった、この季節ならではの花木とともに、360度のアングルで、割竹の帯やカールした曲線の動きを楽しめる作品に。新型コロナウイルスの感染拡大による鬱屈とした日々が続く中、ひとときの癒やしを運んだ。



## 最高位試験に臨む

**理事顧問昇格試験**  
1月28日・大阪教室  
1月30日・草月会館

「昇格試験問題」

**花型図**

●東京・理事／丸水盤にいける時の第三応用立真型逆勝手の花型図（立面図及び平面図）を描き、主枝の角度、方向、剣山の位置を明記し、従枝をいれる時の心得を述べて下さい。

●東京・顧問／丸水盤にいける時の基本傾真型逆勝手の花型図（立面図及び平面図）を描き、主枝の角度、方向、剣山の位置を明記し、従枝をいれる時の心得を述べて下さい。

●大阪・理事／丸水盤にいける時の第一応用立真型逆勝手の花型図（立面図及び平面図）を描き、主枝の角度、方向、剣山の位置を明記し、従枝をいれる時の心得を述べて下さい。

●大阪・顧問／丸水盤にいける時の基本立真型逆勝手の花型図（立面図及び平面図）を描き、主枝の角度、方向、剣山の位置を明記し、従枝をいれる時の心得を述べて下さい。

**論文**

蒼風花伝書・草月五十則の中の次の文章について、あなたの解釈を述べて下さい。

●東京・理事／花があつて、花がいけられることは、しあわせとおもうが、花がなければ、どうかして花を探しだして、なんとしても花をいけばならないというのではないのだ。花の前に「いける」があるのだとおもう。（蒼風花伝書）

●東京・顧問／いけばなは絵だという、音楽でも、彫刻でもある（第三十一則）

●大阪・理事／ひと枝でも一枚の葉でもというが、ひと枝が全部なのである。「花」葉にもを言わせていこうというのが、日本のいけばなの心なのである。（蒼風花伝書）

●大阪・顧問／新・動・均・和、の四原則。線、塊、色、の三拍子（第四十九則）

**実技**

テーマ：剣山なしで水盤にいける（共通）

●東京・理事／花材…にしきぎ

●東京・顧問／花材…まんざく

●大阪・理事／花材…さんしゅゆ

●大阪・顧問／花材…とさみずき

## 椿に魅せられて

茶室で楽しむ椿のころ  
—「百椿図」に寄せて—  
1月24日〜1月26日  
根津美術館

根津美術館にて開催された企画展「対（対）で見る絵画」の特別催事として、庭園内の茶室に茜家元が5作を展示。企画展で出品された伝狩野山楽筆「百椿図」にちなみ、すべて椿を取り入れた作品となった。その凛とした美しさが茶室の静謐な佇まいと呼応し、来場者はしばし寒さを忘れて見入っていた。



3種の椿（万歳棠、太神棠、数椿）を使った家元作品。

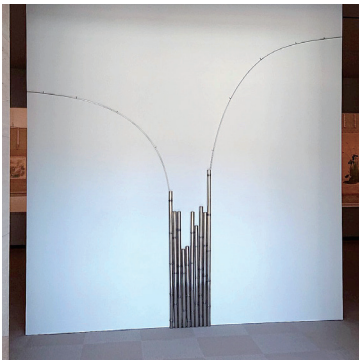
## 美術館にオブジェ設置

**家元オブジェ装飾作品常設設置**  
3月9日〜  
北野美術館

川合玉堂やロダンの作品をはじめ、国内外の美術品を所蔵・展示する北野美術館（長野市）からの依頼で、展示室正面入口の壁面に家元がオブジェ装飾を制作。常設の収蔵作品として設置された。

つや消し仕上げのステンレス素材で制作された今回の作品「竹」は、竹の有機的な特徴が細部にわたって表現され、丸竹部分には花をいけることもできる。

開館中はいつでも観覧可能。  
<http://kitano-museum.or.jp/>



美術館展示室入口壁面のために家元が制作したオブジェ「竹」。

## いけばなで癒やしを

**小さないけばな展**  
3月15日・16日  
東京レジデンス

草月流本部講師・福島光加さんによるグループ展「小さないけばな展」が、東京・九段下の東京レジデンス1階コラボレイトルームで催された。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で自粛が続く中、「大好きな花をいけて、観て、少しでも心を癒やしていただけたら」という思いから、一週間前に自身の教室の生徒さんに声をかけて実現。小学生から80代の方までの作品が展示された。



福島光加さんと右は自身の作品。

## 大人スタイルを学ぶ

**理事・顧問倶楽部**  
「先生は見た目も大切！」  
—おしゃれのちからを味方に—  
2月18日  
草月会館 談話室

草月指導者連盟会員理事・顧問を対象に、ファッション講座「大人スタイルの新常識」が行われた。講師にスタイリストの石田純子さんをお迎えし、理事・顧問世代の大人のおしゃれを指南。「靴、アクセサリ」の選び方「体型カバーのコツ」「柄の合わせ方」等々、明日からすぐに活用できるメソッドが満載で、参加者は熱心にメモを取りながら有意義な時間を過ごした。





## 瞬間の美の融合

桜と車／瞬間の美

3月14日～27日

GINZA PLACE

銀座四丁目交差点にある銀座プレイスにて、桜と車のコラボレーション「瞬間の美」が開催された。日産自動車のEVレーシングカー「フォーミュラE」と、桜を取り入れたいけばな作品を展示。刹那の勝負を力強く走り抜ける車と、春を彩る桜、日本が誇るこの二つの「瞬間の美」が、華やかに融合した。



杉岡宏美さんによる作品（一階）。



森田麗遊さんによる作品（二階）。



モリシユ真紀子さんによる作品（二階）。



森島志鳳さんによる作品（二階）。

## 溢れる春を満喫

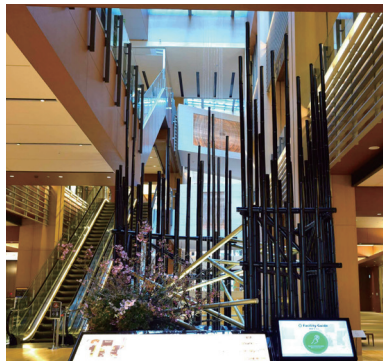
Spring Flower Display

〜 Flower Art Award pre 〜

3月20日～4月19日

六本木・東京ミッドタウン

草月内外で注目を集める、いけばな「フォー・マンユニット」座・草月。彼らが東京ミッドタウンの館内各所に様々ないけばな作品を展開する「Spring Flower Display 〜 Flower Art Award pre 〜」が、1ヶ月間にわたって開催された。座・草月の深澤隆行・飯岡湖武孜



「黒竹桜手水鉢（くちくざくらちようずばち）」  
デザイン…飯岡湖武孜  
装飾制作…座・草月  
研ぎ澄まされた漆黒の竹と桜による日本の美を表現。



「大地讃頌（だいちさんしやう）」  
デザイン…深澤隆行  
装飾制作…座・草月  
「静と動」がコントラストする自然と調和した空間で感じる春風を演出。

がデザインを手がけた、竹や桜をふんだんに使った大型作品のほか、メンバーによる作品展示等、館内随所にスペシャルなフラワーアートが展示された。訪れた人たちは、ガラス越しのやわらかな光を浴びてさらに輝きを増した作品をゆつたりと鑑賞。麗らかな春の息吹を存分に感じ取った。

## 結果発表 第8回草月Facebookみんなのいけばな展

世界各国より165件の応募がありました！ 受賞は以下の皆さんに決定しました。

## 「金の月賞」



Silvia Barucci さん(イタリア)

テーマ:Freestyle

花材:コルクスクリュヘーゼル、葉ぼたん 花器:鉄花器

「家元よりコメント」不思議な世界に迷いこんだような独特な雰囲気を持つ、とても魅力的な作品です。ニョキニョキとしたコルクスクリュヘーゼルが、まさに今にも動き出しそうで、命ある植物ならでの質感が生き生きと感じ取れます。鉄花器の黒い面と、植物が描き出す繊細な線の関係も目を楽しませ、疎密が面白く構成されています。

## 「銀の月賞」

Deborah Gianolaさん  
(イタリア)

テーマ:Mass

素材:エリンジウム、ランタンキュラス

花器:陶器花器



何恵卿さん(中華民国)

テーマ:力

花材:アガパンサス、アルストロメリア、パンダヌス、シンビジウム(葉)

花器:陶器花器

## 「いけるちゃん賞」



杉浦暁さん(2歳)

テーマ:GO!GO! Flower!

花材:ガーベラ、スターチス、色鉛筆

花器:陶器花器

Facebookに全作品を公開中！ 家元の総評もご覧いただけます。 <https://www.facebook.com/sogetsu.exhibition/>

## 季刊『草月』最新号のご案内

## 第101回草月いけばな展

家元対談私の流儀  
ゲスト・吉村華洲（龍生派家元）

〈特集〉

## 楽園の花

Blooms&Bamboo Chrysanthemum and  
Ikebana Sogetsu Artistry

茶室で楽しむ椿のころ「百椿図」によせて

〈草月の作家〉

「カミュー・アンロ」蛇を踏む」

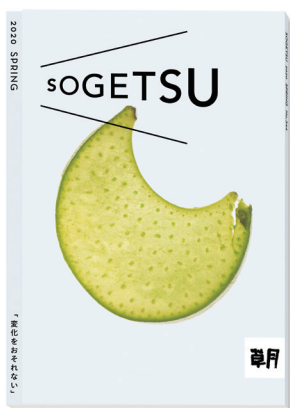
いけばな東京オペラシティ

一花三貌3トルコききよう 片山健

好評連載中

植物に魅せられて「百椿図」

家元研究科「野菜・くだものをいける」  
花といきる作家たち 多賀谷丹方



## 季刊『草月』春号、発売中。

Amazonからも購入ができるようになりました！

定価：1,580円（1,437円＋税）

●購読に関するお問い合わせ 〔草月文化事業株式会社 出版部〕 ☎ 0120-087-202 FAX: 03-5770-5607



草月文化活動支援基金への  
ご協力ありがとうございます  
2020年1月～2月に当基金に  
寄せられた寄付金は、左記の通りです。  
(掲載は一万円以上、敬称略)  
大藪芳雪・大藪彩芳、ハワイ支部、海  
老原綾霞、萌春翠香の会、呉曉春、松  
岡晴楓、畠山知子、加藤久美子、  
SYC東京1

嬉しい受賞

月足草香さん(福岡県柳川市、1  
級師範総務)は、2019年度久  
留米市表彰にて、芸術奨励賞を受賞  
しました。

2020年度 本部講師

秋山美晴 石川己青 石川龍  
石倉松清 五十野雅峰 岩瀬幸霞  
江口玉枝 榎本紅萩 大久保雅永  
岡崎忍 岡本青珠 小沢清香  
梶谷珀鳳 粕谷星華 片山健  
加藤久美子 狩野朱紅 川名哲紀  
久保丹啓 久保島一超 元田紫葉  
坂口水恵 佐々木紅葉 澤田晃映  
篠崎洵雅 杉岡宏美 隅出美泉  
州村衛香 関田育圓 高木水染  
多賀谷丹方 竹中麗湖 田澤涼  
田淵章流 丹野霞園 富田双康  
中田和子 中村草山 西山光沙  
日向洋一 平石丹珠萌 福島光加  
福永早苗 細野葉霞 前田早苗  
本江霞庭 (五十音順)

計報

松本和子(桂和) 師範会顧問  
二〇一九年四月二十六日 享年九十歳  
玉井節子(鳳節) 師範会理事  
二〇一九年十一月十一日 享年八十二歳  
内山真理子(里梢) 師範会顧問  
二〇二〇年二月五日 享年八十七歳  
中島玲子(蓉秀) 師範会理事  
二〇二〇年二月四日 享年八十九歳

テキスト5特別講習会

(本部主催本部・大阪及び支部)を  
未受講の皆さまへ

2016年より開催しておりました  
「テキスト5特別講習会」は、  
2019年3月をもって終了いたし  
ました。指導者の皆さまを中心に、「草  
月のいけばな5」各テーマの詳しい解  
説と指導方法をご理解いただく場と  
して、大変多くの皆さまにご受講いた  
だきました。現在指導されている方、  
今後指導される方で「テキスト5特  
別講習会」を未受講の方は、「テキス  
ト5特別講習DVD」による個別での  
講習をお申込みください。※テキスト

5履修にて4級師範にご昇格された  
方は除きます。※海外会員の方は海  
外課までお問合わせください。※DV  
Dはレンタルのため返却いただきます。  
受講資格…草月指導者連盟会員  
受講料…1万1千円  
「お申込み」はがき、FAX、E-mail  
などに①名前②草指連会員番号  
③住所④電話番号を明記の上、「テ  
キスト5特別講習DVD」受講の旨  
をお知らせください。お申込み後にD  
VD、受講料振込用紙をお送りいた  
します。

●お申込み

【教室運営課】TEL: 03-3408-1209  
E-mail: kyoshitsu@sogetsuor.jp  
【海外課】TEL: 03-3408-1151  
E-mail: overseas@sogetsuor.jp

【国内版】

証書申請料金と財団納付金の  
料金変更の件

近年、証書に使用しております和紙、  
看板・席札に使用しております木材、  
ならびにこの証書・看板・席札を皆さま  
のお手元にお届けする送料が年々高騰  
しており、今回、長い間(1990年  
9月より現料金)据え置いてきました  
証書申請料金を2019年10月1  
日より改定しました。  
また、あわせてまして消費税率改定  
(8%→10%)に伴い、財団納付金と  
証書申請料金の消費税増税相当分  
を改定させていただきます。  
日本国内と海外の申請料金は、料金  
に対する消費税課税の有無と、送料  
の違いにより異なります。

「台風被災支援・草月カレンダープロジェクト」のご報告

草月出版では、草月カレンダー2020「勅使河原茜 花12選」一  
部お買い上げにつき50円を令和元年台風災害義援金として寄付をす  
るプロジェクトを行いました。プロジェクトは2019年12月31  
日に終了し、義援金の総額は42万4千6百円となりました。義援金は、  
日本赤十字社「令和元年台風第19号災害義援金口」を通じて被災され  
た皆さまに寄附させていただいたことをご報告いたします。  
皆さまの温かいご支援に、改めて感謝申し上げます。

草月文化事業株式会社・出版部

追悼・尾中千草さん



草月創成期に学び、流とともに歩んだ人生

草月会相談役であり、名誉会員である尾中千草さんが、  
2020年2月29日に、逝去されました。享年105歳。

尾中さんは1932年に草月流へ入門。初代家元 勅使河原  
蒼風の助手の一人として研鑽を積み、戦後間もなく外貨持ち  
出し制限のある時代から、世界各地で講師活動やデモンストレー  
ションを行いました。40代のころに尾中さんの代名詞のひとつでも  
ある「鉄のオブジェ」に目覚め、彫刻と花の展覧会を開催。凛と  
した姿の作品は、今も多くの人々の心に残ります。心より、冥福  
をお祈りいたします。

●おなか・せんそう

1932年草月流に入門。終戦翌年の1946年に蒼風の助手となる。  
子ブトやパリソ連など世界各地を訪れる  
ほか、自身の教室千創会などで指導を始  
める。第35回蒼風賞など受賞多数。  
1981年第4回II世界大会で草月  
代表としてデモンストレーション、1955年  
常陸宮いけばな褒賞盃、百歳を迎えた  
2014年には草月特別大賞を、  
2017年の草月創流90周年記念創  
流祭では、草月金花大賞を受賞した。



追悼・石川青葩さん



関西で草月の中心的存在として

名誉会員である石川青葩さんが、2020年2月4日にご  
逝去されました。享年92歳。

石川さんは1947年に草月流へ入門。本部講師や支部長  
などの数々の重責を担い、関西で草月の中心的存在として長き  
にわたり活躍しました。「オリジナルの花器を作りたい」と始めた  
陶芸でも才能を発揮。ユーモラスな陶作品は、いけばな同様たく  
さんの人々を魅了しました。心より、冥福をお祈りいたします。

●いしかわ・せいほ

1947年草月流に入門。蒼風賞、草月賞、草月栄誉賞など受賞多  
数。2017年の草月創流90周年記  
念創流祭では、草月大賞を受賞した。  
流内のみならず、大阪府花道家協会  
や日本いけばな芸術協会などで幅広  
く活躍し、2007年には地域文化  
功労者として文部科学大臣表彰を  
受けた。陶芸の分野でも活躍し、陶歴  
50年。1977年には作品「海鳴り」  
で女流陶芸文部大臣賞受賞。  
2014年には米寿を記念する陶展  
「ふしぎな森」を開催した。





**キャンペーン** 草月WESTオープン記念・お得なキャンペーン実施！ぜひ草月WESTへ

	草月WEST移転キャンペーン	草月WEST新入会キャンペーン
家元教室	大阪家元教室在籍で草月WEST継続受講の方対象 <b>キャンペーン期間中の2ヶ月分月謝を半額</b> (2020年7月～9月の中で2ヶ月対象) ※ワンレッスン受講は対象になりません。	草月WESTで初めて家元教室に入会する方対象 <b>入会金無料</b> (2021年3月まで有効)
家元研究科	大阪教室研究科在籍で草月WEST継続受講の方対象 <b>草月WESTで最初の受講回は受講料半額</b> (～2020年9月) <b>2020年7月～9月の期間で3ヶ月連続受講の方に特典あり</b>	草月WESTで初めて家元研究科に入会する方対象 <b>入会金無料</b> <b>初回受講料半額</b> (2021年3月まで有効)
プロフェッショナルクラス		草月WESTで初めてプロフェッショナルクラスに入会する方対象 <b>入会金無料</b> (2021年3月まで有効)
2020年度テキスト集中講座『特別篇』	大阪教室より継続してテキスト集中講座を受講のかた、初めて受講する方対象 <b>受講料5,000円割引</b> (2021年3月まで有効)	

## イベントスペースとして、草月WESTをご利用ください

新教室「草月 WEST」はイベントスペースとしてお使いいただけます。新しくデザインされた教室をぜひ支部研究会、社中展、個展などにご利用ください。2020年度(2020年7月～2021年3月)はオープンキャンペーンとして、優先割引価格でご利用いただけます。

<b>支部特別価格：1時間 2,000円(税別)</b>	<b>会員特別価格：1時間 3,000円(税別)</b>
[参考] 草月 WEST 会員通常価格 (2021年4月～予定)：1時間 4,000円(税別) 草月会館教室利用会員価格 (50名まで)：50名まで 1時間 5,000円(税別)、50名以上 1時間 8,000円(税別)	

[施設概要] ●広さ：約185㎡ 研究会の場合、およそ60名までの利用を想定した空間。展示空間として使用可能です。  
 ●設備：机、椅子、水屋、花器、照明、音響など教室備品をご利用いただけます。  
 ●使用時間：10時30分ごろから17時ごろまでを想定していますが施設仕様が決まり次第お知らせいたします。  
 ●ご利用可能日の一例(2020年3月現在) 7/5(日)、7/19(日)、7/23(木・祝)～26(日)、9/6(日)、10/4(日)、10/18(日)、11/15(日)、12/6(日)、ほか  
 ※ご利用可能日・内容は変更になる場合があります。詳しくはお問合わせください。  
 ※空間デザイン、図面、設備詳細などは設計中です。決まり次第詳細をお知らせいたします。



## お申込み・お問合わせ

【草月WEST準備室(大阪教室内)】 TEL:06-6344-2841/FAX:06-6344-2844/E-mail: west@sogetsu.or.jp

SOGETSU  
WEST 草月

いよいよ、6月27日(土)オープン！



草月WESTのエントランスイメージ。

## 草月 WEST のロゴが決定！

ロゴの「SOGETSU」の字体は草月の歴史を、「WEST」の字体は新しいこれからの草月をイメージしています。草月の新しい歴史に、皆さんも一緒に楽しんでご参加ください。

## 開講日、時間、受講料変更のお知らせ

移転にともない家元教室、家元研究科の開講日などが変わります。大阪教室在籍の皆さまには、ご不便をおかけしますこととお詫び申し上げます。教室デザインも一新し、これまで以上に皆さまに楽しんでいただける空間を目指して準備中です。ぜひ新教室「草月 WEST」を体験してください！

家元教室			家元研究科		
金曜日	午後クラス 夜クラス	14時30分～16時30分 18時30分～20時30分	金曜日	午後クラス 夜クラス	14時30分～16時30分 18時30分～20時30分
土曜日	午前クラス 午後クラス	10時30分～12時30分 14時30分～16時30分	土曜日	午前クラス	10時30分～12時30分

月謝：11,000円(月3回・花材費別) 入会金：11,000円

※開始時間の20分前から受付開始予定  
 受講料：家元指導12,200円 通常10,100円(花材費込み)

新教室での家元教室、家元研究科は 2020年7月から開催となります。料金や時間の変更も2020年7月からです。

※日程は変更になることがあります。また、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。



年間行事予定

4月19日(日)まで	座・草月 Spring Flower Display～Flower Art Award pre～(六本木・東京ミッドタウン) ※4月4日(土)～4月19日(日)「座・草月いけばな展」同時開催
6月5日(金)	財団理事会(草月会館／午前11時～)
6月18日(木)・19日(金)	第10回AT賞展(草月プラザ) ※3月26日(木)・27日(金)より会期が変更になりました
6月19日(金)	財団評議員会(草月会館)
7月2日(木)	第102回草月いけばな展(日本橋高島屋)出品説明会(草月ホール／午後12時30分～)
7月28日(火)～31日(金)	2019年度草月造形科作品展 色彩構成コース(草月会館) ※3月3日(火)～7日(土)より会期が変更になりました
	2019年度草月造形科作品展 写真コース(草月会館) ※3月10日(火)～13日(金)より会期が変更になりました
8月9日(日)	AKANE フェスタ(午後1時開場 午後1時30分開演／草月ホール) ※3月1日(日)より開催日が変更になりました
9月8日(火)～12日(土)	2019年度草月造形科作品展 陶芸コース(草月会館) ※3月10日(火)～13日(金)より会期が変更になりました

【草月会館土・日・祝日特別開館日】

草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館・大阪教室ともに休館しております。

5月23日(土)、6月13日(土)、7月11日(土)、8月8日(土)、8月9日(日)

※「スプリングセミナー2020」中止に伴い、4月18日(土)は草月会館・大阪教室ともに休館とさせていただきます

本部主催支部研究会・講習会

鳥取県支部	6月7日(日)	研究会 米子ふれあいの里	篠田光寿 ☎ 0859-75-2061
佐賀県支部	6月7日(日)	講習会 浪漫座(佐賀市歴史民俗館旧古賀銀行内)	佐田富紅輝 ☎ 0952-28-0242
島根県支部	6月14日(日)	講習会 島根県民会館	増本香則 ☎ 0852-23-3648
山口県支部	6月21日(日)	研究会 山口市南総合センター	佐藤華津 ☎ 0833-77-5140
静岡県支部	7月5日(日)	研究会 静岡労政会館 第3会議室	加藤草容 ☎ 053-466-2653
広島県支部	7月19日(日)	研究会 広島市南区民文化センター 3階大会議室	高橋篁赫 ☎ 082-251-5139
岡山県支部	7月19日(日)	研究会 倉敷市芸文館	三宅寿肇 ☎ 086-428-2558
千葉県支部	7月23日(木・祝)	講習会 全日警ホール ※4月25日(土)より開催日が変更になりました	酒井光恵 ☎ 03-3605-8876
富山県支部	8月30日(日)	講習会 富山県民生生センター サンフォルテ	林青影 ☎ 0766-23-9366
埼玉県支部	9月6日(日)	研究会 埼玉会館 7階会議室 ※5月17日(日)より開催日・会場が変更になりました	榎本紅萩 ☎ 048-463-8188

フラワー

とらや赤坂本店 ※営業時間に変更がある場合がございます お出かけの際は、念のため店舗にお問合わせください	4月	東和霞	赤坂見附
	5月	北内翠潤	
	6月	モランジュ真紀子	
とらや銀座店 ※営業時間に変更がある場合がございます お出かけの際は、念のため店舗にお問合わせください	4月	田中双翠	銀座
	5月	渡辺光樹	
	6月	井谷恭紅	
ザ・キャピトルホテル東急	常設	杉岡宏美	溜池山王・国会議事堂前
赤坂エクセルホテル東急	常設	草月アトリエ	赤坂見附
横浜ベイホテル東急(B1階神殿口)	4月7日～8月上旬	深澤隆行	横浜・みなとみらい
草月会館日本間	4月16日まで ※3月30日～4月11日より会期が変更になりました	州村衛香	青山一丁目
	4月20日～5月1日	青柳良寒	
	5月11日～23日	小沢清香	
	5月25日～6月5日	岡本青珠	
	6月8日～19日	對馬明桂	

※草月会館日本間の展示は、初日の午後より、最終日は午前までです。

新型コロナウイルス感染拡大に伴うイベントや教室の中止・延期について

不測の事態のため、このページに掲載されているイベントは中止または延期となる場合がございます。

お出かけの際は主催者にお問合わせいただくか、いけばな草月流公式ホームページ「新型コロナウイルス感染拡大に伴うイベントや教室の中止・延期について」をご確認の上、今後の情報にご注意ください。  
どなた様も時節柄くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

●いけばな草月流公式ホームページ

「新型コロナウイルス感染拡大に伴うイベントや教室の中止・延期について」

<https://www.sogetsu.or.jp/news/100070/>



なお、本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、

広報部までご報告くださいますようお願い申し上げます。

[ 広報部 ] TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:pr@sogetsu.or.jp

※P.38にて中止または延期となった全国のイベントを掲載しています。

支部展

秋田県支部展	7月3日(金)～5日(日)	秋田拠点センターアルヴェ きらめき広場	藤澤和交 ☎ 018-832-9420
京都支部展	10月10日(土)・11日(日) 白沙村荘 橋本関雪記念館 ※3月14日(土)・15日(日)より会期が変更になりました	森英琴	☎ 075-601-9209
栃木県支部展	10月30日(金)～11月1日(日) 大谷資料館 ※家元出品 ※5月15日(金)～17日(日)より会期が変更になりました	木村爽陽	☎ 028-681-2570

各地の展覧会

彩華花の教室と浜のなかまち「浜風によせて」	5月12日(火)～17日(日) 三陽メディアフラワーミュージアム(千葉市花の美術館)	山本彩華 ☎ 090-4752-6775
耀の会 グループ展	5月23日(土)・24日(日) 立山町リノベーション古民家「埜の家」	喜多野瑛 ☎ 076-423-2615
生け花のある能「半部 立花供養」(生け花:横井紅炎) 5月24日(日)午後2時 矢来能楽堂 ※要チケット	横井紅炎 ☎ 0466-60-1916	
東京藝大音楽学部生と大川春雪コラボレーション	6月6日(土) 加賀町ホール(新宿区) ※要チケット	大川春雪 ☎ 080-3152-2171
第22回草月四季の会いけばな展	6月6日(土)・7日(日) チューリップ四季彩館(富山県砺波市)	河合里抱 ☎ 0763-62-0043
「本部特別技術講師:秋松伸一の講座」 1期生展覧会	7月2日(木)・3日(金) 草月プラザ	教室運営課 ☎ 03-3408-1209
茨城県支部県南地区いけばな展	9月4日(金)～6日(日) 土浦市民ギャラリー ※3月13日(金)～15日(日)より会期が変更になりました	根木美里 ☎ 090-7400-3521
草月陶房所属作家ユニット「salulas」参加 今立現代美術紙展 IMADATE ART FIELD 2020	9月12日(土)～30日(水) 越前和紙の里(福井県越前市) ※4月29日(水・祝)～5月10日(日)より会期が変更になりました	草月陶房 ☎ 0778-32-2234
いけばな展「ホテルにいける!」4クローバーズ	9月20日(日)～22日(火・祝) ホテル プリランテ武蔵野 ※5月3日(日・祝)～5日(火・祝)より会期が変更になりました	佐藤青幹 ☎ 080-1350-5113
Sō Team Oita作品展「hana想空間」	10月8日(木)～11日(日) 創造空間kamenos (大分県速見郡日出町) ※4月23日(木)～26日(日)より会期が変更になりました	原露聖 ☎ 090-8408-5053
はな ゆら 華・響 いけばな&生演奏での癒しの空間展	10月17日(土)・18日(日) 三嶋大社宝物館(静岡県三島市) ギャラリー	長澤玉映 ☎ 080-3692-4843



## Information

### Cancellation and Change of Schedule due to COVID-19

We regret to inform you that we changed the schedule of the events below taking the effect of COVID-19 into consideration

Thank you for your understanding and please contact us if you have any questions.

#### < Postponed >

- Akane Festa  
Rescheduled date: Sun 9th August 13:30-
- AT Award Exhibition  
Rescheduled dates: Thu 18th- Fri 19th June
- Exhibition by Sogetsu Headquarters Plastic Arts Courses  
Rescheduled dates: Tue 28th- Fri 31st July

#### < Cancelled >

- Spring Seminar 2020: Apr. 17-18
- Sogetsu Exhibition, Shinjuku: May 28 -Jun 2

### Calendar of Events 2020

Aug. 10- 16 Sogetsu HQ closes for summer vacation

\*Schedules above are subject to change.

### International Class, *Iemoto* Class and Teachers' Workshop

The details are shown on the webpage below:

<http://www.sogetsu.or.jp/e>

Note: Teachers' Workshop is held in Japanese. If you wish to attend this class and require English speaking assistance, please make reservations at least two weeks beforehand.

International Class: 4,140 yen per lesson

*Iemoto* Class: 5,600 yen per lesson

Teachers' Workshop: 1st lesson of the month 12,200 yen per lesson

2nd and further lessons 6,100 yen per lesson

#### [ Branches/SGs ]

### Submission of Annual Activity Report /Election Report

(1) Annual Activity Report for Sogetsu year 2019 (from April 2019 to March 2020)

(2) Members' list

(3) Election Report \* only branch/study group which falls on election year.

All the Branches and SGs are required to submit (1) and (2) to the Headquarters. The Branches and SGs which are due to have an election this year are also required to submit (3).

Submission Deadline: May 31, 2020

\*the due date can be extended.

Accepted by attached to E-mail or postal service

#### ●Official Forms available online

We will NOT send the report form in paper by post. The official e-forms (PDF/Excel format) will be available to download from Sogetsu website; <https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/forms>

### Leaflets (English/ Chinese)

The leaflets for 2020 will be available in April. Each

Branch/SG will be entitled to 200 complimentary copies sent by regular airmail on request. Additional copies are available for purchase. We accept orders from individuals. Download the order form online: <https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/leaflets>

### Establishment and promotion

- Yuuma Study Group, Jordan, is promoted to Amman central Branch as of November 1 ,2019.
  - Indus Study Group, Pakistan, is established as of February 1, 2020.
  - Karachi Study Group, Pakistan, is established as of February 1, 2020.
- Our best wishes to the members of all branches and study groups above.

### [ Other information ]

●Notice for the members in Brazil  
As of the 1st of January 2020, Receita Federal (Ministry of Economy) strongly suggests that all mails and parcels sent to Brazil from overseas should write a receiver's CPF (individual tax registration) along with the name.

In order to assure the safer delivery of all documents from the HQ, we request the members living in Brazil to contact Services for Membership Department and inform their CPF.

Contact : [members@sogetsu.or.jp](mailto:members@sogetsu.or.jp)

Thank you for your cooperation.

### Acknowledgement

Thank you to the Sogetsu Hawaii Branch for the contributions to the Sogetsu Cultural Activities Promotional Fund.

### Award Winner

We are pleased to announce that the Foreign Minister's Commendations FY2019 was awarded to the following STA member to acknowledge her contribution to promotion of Japanese culture in her country.

Mrs. Chai Teng Kooi (Ex-director of Kuala Lumpur Branch)

### The 8th Everyone's Sogetsu Ikebana Exhibition on Facebook

We received 165 entries from around the world.

Thank you very much!

After due consideration by the *Iemoto* Akane Teshigahara, four works have been selected to receive prizes. The following three overseas STA members received the Prize:

Golden Moon Prize: Ms. Silvia Barucci (ITALY)

Silver Moon Prize: Ms. Deborah Gianola (ITALY)

Ms. HUI-CHING HO (TAIWAN)

Grand Ikeru-chan Prize: Akatsuki Sugiura (JAPAN)

\*Please see pictures in the "So" Magazine p.27.

The *Iemoto's* comments and the details such as the theme, material etc. are shown on the webpage below: <https://www.facebook.com/sogetsu.exhibition/>

### In Memoriam

Mrs. Judith McCulloch February 29, 2020

新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため、

中止または延期となったイベントを掲載しております。

最新の情報につきましては、いけばな草月流公式ホームページをご覧ください。

## 本部主催のイベント

ご迷惑をおかけいたしますことを心よりお詫び申し上げます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

**延期** **AKANEフェスタ** 3月1日(日) → **8月9日(日)** 草月会館

皆さまから頂戴した参加費につきましては、8月9日(日)の開催に振替させていただきますが、ご都合がつかずキャンセル(ご返金)を希望される方は、7月3日(金)までに会員サービス部までご連絡いただきたく存じます。

お問い合わせ [ 会員サービス部 ] TEL:03-3408-1120 / FAX:03-3405-4947 / E-mail: [members@sogetsu.or.jp](mailto:members@sogetsu.or.jp)

**中止** **草月スプリングセミナー2020** 4月17日(金)・18日(土) 草月会館

お申込みいただいた方には、別途ご連絡を差し上げております。**4月18日(土)は、草月会館は休館とさせていただきます。**

お問い合わせ [ 事業部 事業課 ] TEL:03-3408-1156 / FAX:03-3405-4947 / E-mail: [kikaku@sogetsu.or.jp](mailto:kikaku@sogetsu.or.jp)

**中止** **全国支部長会議** 5月21日(木)・22日(金) 草月会館

お問い合わせ [ 総務部 支部支援室 ] TEL:03-3408-1129 / FAX:03-3405-4947 / E-mail: [somu@sogetsu.or.jp](mailto:somu@sogetsu.or.jp)

**中止** **草月いけばな展「月と太陽」** 5月28日(木)～6月2日(火) 新宿高島屋

お問い合わせ [ 事業部 事業課 ] TEL:03-3408-1156 / FAX:03-3405-4947 / E-mail: [kikaku@sogetsu.or.jp](mailto:kikaku@sogetsu.or.jp)

**延期** **第10回 家元とHANA SO! (神奈川・静岡)** 6月20日(土) → **未定** 草月会館

お問い合わせ [ 広報部 ] TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail: [info@sogetsu.or.jp](mailto:info@sogetsu.or.jp)

**延期** **第11回 家元とHANA SO! (埼玉・千葉)** 7月4日(土) → **未定** 草月会館

お問い合わせ [ 広報部 ] TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail: [info@sogetsu.or.jp](mailto:info@sogetsu.or.jp)

**中止** **茨城県支部研究会** 4月12日(日) ワークプラザ勝田

**中止** **新潟県支部講習会** 4月19日(日) 新潟ユニゾンプラザ

**延期** **東京南支部研究会** 4月25日(土) → **未定** 草月会館 5階教室

**中止** **石川県支部講習会** 4月26日(日) 石川県女性センター

**中止** **鹿児島県支部講習会・研究会** 5月17日(日) 宝山ホール

**延期** **山形県支部研究会** 5月24日(日) → **未定** 山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング

## 全国イベント

中 止	4月18日(土)・19日(日)	富山県支部 三創会いけばな展「和なごみ」	北日本新聞 創造の森 越中座
	4月22日(水)～27日(月)	第53回日本いけばな芸術展 (家元通期出品)	大阪高島屋 7階催会場・グランドホール
	4月25日(土)・26日(日)	兵庫県支部展「はな・刻の流れ」	あかし市民広場
	5月9日(土)・10日(日)	津グループ展	津リージョンプラザ 展示室
	5月15日(金)～17日(日)	愛媛県支部展「あふるる」	道後温泉ふなや・松山市立子規記念博物館
	5月16日(土)・17日(日)	徳島県支部展「花の輪2020」	文化の森総合公園 徳島県立21世紀館
	5月23日(土)・24日(日)	第40回越前陶芸まつり参加企画「花のOMOTENASHI vol.3」	草月陶房
	5月28日(木)～31日(日)	東京南支部「第60回蘭友会らん展～蘭で遊ぶ～」	サンシャインシティ ワールドインポートマートビル4階 展示ホールA
	6月20日(土)・21日(日)	2020米沢地区草月いけばな展「遊び心」	よねざわ市民ギャラリー ナセBA
	6月27日(土)・28日(日)	木陽会華展	北日本新聞 ギャラリー

延 期	横塚秋霞・横塚麗霞社中 いけばな展「時代を越えて(秋霞傘寿を祝う)」	4月18日(土)・19日(日) → <b>未定</b>	桐生市有鄰館 煉瓦蔵	横塚麗霞 ☎ 090-4951-5857
	13th. AIBI-Exhibition 'The world' 第13回アイビー教室展～お気に入りの世界～	4月24日(金)～26日(日) → <b>秋に延期予定</b>	アトリエ「昭和のいえ」 (東京都武蔵野市)	永井裕逢 ☎ 090-6011-0015
	新潟県支部第二グループ 春美会 いけばな展「ときめく 花」	5月2日(土)・3日(日)・祝 → <b>未定</b>	シティホールプラザ アオーレ長岡 市民交流ホールB・C	高野翠萌 ☎ 0257-27-2711
	花と器のハーモニー2020 ※家元出品	5月30日(土)～6月7日(日) → <b>未定</b>	山手西洋館ベリック・ホール	広報部 ☎ 03-3408-1158
	岩手県支部展「新花・進花 いわて～輪になってHANA SO～」	6月13日(土)・14日(日) → <b>未定</b>	いわて県民情報交流センター アイーナ	照井昌英 ☎ 019-638-3128

※本部へお届け済みの延期になったイベントのうち、延期後の日程が未定のものに掲載しております

延期後の日程が決定しているイベントにつきましては、P.36 ～ 37 にてご案内しております



## Schedule of Iemoto's Visit (Overseas)

### [ Postponed ] Iemoto Akane Teshigahara will visit Australia.

Title of the event: TBA

Event description: Sogetsu New South Wales Branch will be honored to host Iemoto Akane Teshigahara at the anniversary events in Sydney, celebrating 60 years of Sogetsu in Australia and New Zealand.

Host: Sogetsu New South Wales Branch (Australia)

New Date: TBA

Please refer to the website for details.

Enquires: <https://www.sogetsu-ikebana.org.au/>

email address: [sogetsu.ikebana.nsw@gmail.com](mailto:sogetsu.ikebana.nsw@gmail.com)

## Introduction of new Study Group overseas

Indus Study Group, Pakistan "Like flow of the Indus: Steady and throughout Pakistan"

Indus Study Group began its journey in 1999 under Mrs. Tapal's direction with twenty-eight members. The members of the group have been eagerly learning Sogetsu Ikebana, travelling to the World Shows in Japan and inviting late Mrs. Leela Rajkumar for demonstration and workshops.

We put up our exhibitions in Karachi as well as in other big cities in Pakistan, such as Lahore. Regular classes are held at the Japanese Consulate and other places by Mrs. Tapal.

We showcase our work each year at the most prestigious show in Karachi, The National Horticulture Show, where our stall is much appreciated by the visiting public.

Workshops, demonstrations and introductory classes are held at educational institutions to facilitate the students in the art of Ikebana.



## Introduction of new Study Group overseas

Karachi Study Group, Pakistan "Challenging and encouraging"

The Karachi Study Group started its activity in 2013 by 6 teachers of Sogetsu School.

Since then the group has taken part in exhibitions through Ikebana International and held monthly workshops on different topics. We encourage our members to come up with ever new ideas and often invite our teacher Mr. Christopher Lim to brush up our techniques.

As part of our outreach program we create arrangements in a beauty salon and give a demonstration there. Also we happily teach at schools and colleges to attract the students who may become interested in Sogetsu Ikebana.

We will continue to promote the art of Sogetsu Ikebana throughout Karachi.



## Promotional Examinations for the Riji and the Komon degree 2020

The examinations for the *Riji* and the *Komon* degree which are the highest of all the Sogetsu certificates are held once every year. This year, in Japan, the examinations were held on the 28th January at the Osaka School, and 30th January at the Sogetsu Kaikan. Participants from all over Japan took a written examination and a practical examination. Overseas members also took

the examinations through correspondence. The questions for the written examination were sent to examinees via e-mail on the same day as the examination in Japan. Examinees submitted pictures for given assignments instead of taking a practical examination in Japan. For your study interest, the questions for this year were as follows.

### Questions for the Promotional Examination to the Riji degree

1. Draw a diagram (front view and top view) of Variation No.3 Upright Style *Moribana* (in Reverse) using a round *Suiban*. Indicate the angles and directions of the three main stems. Also, explain about adding the subordinate stems, and indicate the placement of the *Kenzan*.
2. Write about the following sentence from Sofu Teshigahara's *Kadensho*.

Living in a land with an abundance of flowers is certainly a blessing, but if they weren't available, I wouldn't waste my time trying to find them. The main element of Ikebana is not the flower but the spirit of bringing them to life.

### Questions for the Promotional Examination to the Komon degree

1. Draw a diagram (front view and top view) of Basic Slanting Style *Moribana* (in Reverse) using a round *Suiban*. Indicate the angles and directions of the three main stems. Also, explain about adding the subordinate stems, and indicate the placement of the *Kenzan*.
2. Write about the following sentence from Sofu Teshigahara's *The Fifty Principles of Sogetsu*.  
31. Ikebana may be comparable to painting, music or sculpture.

We send information regarding the *Riji* and the *Komon* examinations to teaching *Riji* holders every autumn. If you are interested in taking the promotional examinations, please ask your teacher.

## Master Instructors of the Sogetsu HQ 2020

Miharu Akiyama  
Tamae Eguchi  
Koshu Enomoto  
Sanae Fukunaga  
Koka Fukushima  
Shiyo Genda  
Yoichi Hinata  
Tanshuho Hiraishi  
Yoka Hosono  
Misei Ishikawa

Ryu Ishikawa  
Shosei Ishikura  
Gaho Isono  
Koka Iwabuchi  
Hakuho Kajitani  
Shuko Kano  
Seika Kasuya  
Ken Katayama  
Kumiko Kato  
Tetsunori Kawana

Tankei Kubo  
Iccho Kuboshima  
Sanae Maeda  
Katei Motoe  
Kazuko Nakada  
Sozan Nakamura  
Kosa Nishiyama  
Seishu Okamoto  
Shinobu Okazaki  
Masanaga Okubo

Seiko Ozawa  
Suikei Sakaguchi  
Koyo Sasaki  
Koei Sawada  
Ikuen Sekita  
Junga Shinozaki  
Hiromi Sugioka  
Bisen Sumide  
Eikou Sumura  
Shoryu Tabuchi

Tanho Tagaya  
Suisen Takagi  
Reiko Takenaka  
Kaen Tanno  
Ryo Tazawa  
Soko Tomita

## Assistants of the Sogetsu HQ 2020

Yorika Azuma  
Seiko Hamada  
Suisho Higuchi  
Rosen Kimoto

Satoka Kitajima  
Suijun Kitauchi  
Hosei Kubota  
Meiho Maruyama

Makiko Morange  
Shiho Morishima  
Reiyu Morita  
Seiho Muto

Misho Nakamura  
Reito Oizumi  
Sato Omukai  
Seisui Ono

Shimon Takahashi  
Chieko Taniguchi  
Shoe Yamagami  
Kosei Yokochi



## One Two Step

Teacher's Guide to Teaching 18 Gaho Isono

### Tips and Advice when Creating Ikebana

The necessary things when composing ikebana works are the thoughts of the arranger and the techniques to give shape to the imagination, I think. For every ikebana, taking the viewers and the placement into account is essential. It is, therefore, important to acquire creative ideas and skills to be able to adapt to various arranging situations.

### About my work exhibited in The Sogetsu Exhibition, Shinjuku "Flowers and their vases"

The containers used for the miniature ikebana works were created by Mr. Fumio Aida, who was very much my senior when I was in Sogetsu atelier staff. He made them by shaving off Japanese cedar wood pieces with a small knife, burning the surfaces with a burner, and polishing them. These containers have unique shapes with beautiful patterns of wood grain, which made me happy when arranging flowers there. Each of them has a drilled hole into which an injection needle cap is inserted so that it can contain water. Creating miniature ikebana is

a good opportunity for close observation of plants. I composed an original cosmic space while discovering the beauty of each single petal and pistil.

### 作品を造る上でのポイントやアドバイス

作品を造る時に必要なことは、その人の中にある想いとその想いを形にする技術だと思います。またいけばなは、場や見てくれる人のことを考えなければ成立しません。様々な場面に対応できるアイデアと技術を学ぶことが大切です。

### 草月いけばな展「何にいけるか ―それが問題だ!」(新宿高島屋)

このミニチュア用の花器は、アトリエの大先輩 相田文男さんが作ってくれたものです。杉の垂木を小刃で削り、表面をバーナーで焼いた後、磨いたものです。きれいな木目が出て、形もそれぞれユニークでいけていて楽しめます。花器にはドリルで穴をあけ、注射針のキャップが入っているので、水も入ります。ミニチュア用は、植物をじっくり見つめる良い機会です。花卉1枚、めしべ1本の美しさを発見しながら、ひとつの宇宙空間を構成しました。



*The Sogetsu Exhibition, Shinjuku "Flowers and their vases"*  
Work by Gaho Isono

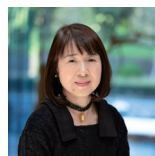
Materials: Colored Golden-bells, Colored Nepenthes, Maple, Holly olive, Sword fern, Hinoki, Dracaena concinna, Billy buttons, Prairie gentian, Gerbera, Pink, Persicaria longiseta, Poppy  
Base: Acrylic plate

### Gaho Isono

After working for the Sogetsu atelier of the third Iemoto Hiroshi Teshigahara for 11 years, Isono opened her ikebana class. As Master Instructor of the Sogetsu Headquarters, she teaches at the Iemoto Class and other classes including those held at private companies and elementary schools, as well as creating many works for hotels and other public spaces.

### 五十野雅峰

第三代家元・勅使河原宏の草月アトリエに11年間勤務。その後、いけばな教室を主宰する。現在は、本部講師として家元教室などを担当。その他企業、小学校でも講師を務める。またホテルなどの公共空間でも、数多くのフラワーを手がけている。



## Sogetsu Textbook 5 Q&A Key word "Creation"

Here are some tips and answers to the questions for studying of the themes.  
(The same article in Japanese was in Summer 2018 edition of "Sogetsu" magazine.)

### Green Plant Materials (5-4)

[Q] Some students may feel at a loss what to do if it is their first time to attempt an arrangement using green only.

[A] Mentioning such points as the shades of green, the lines of stems, the surfaces of leaves, and other clues can inspire the students' new discoveries and creative ideas. They can start from looking at the materials closely.

[Q] May we use plants with green-color buds?

[A] Yes, you can use them without any problem. When displaying the work featuring this theme in an exhibition, however, you should not choose materials with buds which are green but then turn to different colors when they bloom during the exhibition period.

### Composition Expressing a Movement (5-18)

[Q] I want to express the verb "tangle" by intertwining plant materials, but can I do that as "Intertwining Plant Materials" is for the theme of Sogetsu Textbook 3-16?

[A] You can make your work on this theme by using your intertwining technique. Be careful, however, not to end up with the work without any sense of movement because of too much intertwining. Your finished work should be expressing a movement.

[Q] If such verbs as bind or fold are chosen, the work can be made by just binding or folding the plants. How should I deal with the theme?

[A] The theme aims to create a work which looks as if it is in motion. Your work should not look static by merely binding or folding the plant materials. Try to create an arrangement in which a movement can be felt by making good use of the techniques you've already acquired.



Summer 2018 edition of "Sogetsu" magazine posts the photos of examples of the themes above. The edition is for sale at Sogetsu Shuppan. E-mail: shuppan@sogetsu.or.jp

### Arrangements for Celebrations (5-11)

[Q] The theme seems to be similar to Textbook 4-19 "Specific Scenes, Occasions or Spaces." Can I interpret the theme in the same way? I think these two themes are the same in a sense of making an arrangement to please the recipients.

[A] The aim of "Specific Scenes, Occasions or Spaces" in Textbook 4-19 is to compose works by assuming various situations such as weddings, funerals, and other ceremonial occasions, events, or decorating one's own home entrance. The importance of respecting the feeling of viewers is the same for both themes but this theme is more specific to express the feeling of celebration.

### Complementing an Art Work (5-20)

[Q] What is the definition of "Art" in the theme? The Textbook says printed post cards are included. What is the allowable range of art works? Does it include folkcraft, too?

[A] Here, what is/isn't art or who is to judge the art are not the point. There is no need to decide superiority of the art work based on whether it is famous or not, or whether it is expensive or not. As long as it is appreciated as an art object by the arranger, even a tin toy or folkcraft such as a Japanese wooden doll the one called *kokeshi* can be regarded as an art work here. Keep in mind, however, that the art object made by the arrangers themselves cannot be used, as the aim of the theme is to compose a work based on the inspiration given by a third-person's art work.

[Q] Can I use a vase made by an artist as an art work?

[A] The vase can be used as a three-dimensional art object with which your work is composed. It is not appropriate here to put water and arrange flowers in it.



## Keep Right on Talking! No.69 : Akane Teshigahara

In adversity

I am so sorry for any whose family members have lost their lives in this recent expansion of COVID-19 infection and send my sympathy to all those who are still receiving treatment. Also, I would like to send hearty thanks to the many people fighting against this invisible virus in Japan and the world.

Things that until now we could do as a matter of course have become impossible in the same way or are greatly restricted by the spread of COVID-19. I have never experienced a situation like this in 60 years. I believe, however, that this is a modified challenge for our own health and consideration for others. Since we have to protect not only ourselves but also our families and loved ones at the same time, it is natural to become very nervous, but we want to calmly react to the situation and behave according to the needs for mutual care with attention to others.

I'm sure some of you may say, "I want to go to class, but my family would be worried about contact with the virus." I also have an obligation to protect my family, the people who work for Sogetsu, and above all Sogetsu members. That's why I took the plunge and decided to cancel all classes and events for a while. I know that you love Sogetsu very much, so if we were to hold an event, you would feel compelled to attend. But by cancelling classes and events on our side, I believe that we can avoid any situation where you would be exposed to any risk.

In this situation, people have started to make various special efforts: a major convenience store is delivering onigiri (rice balls) to after-school facilities without charge and numerous artists have released their live videos for free. When I thought about "What Sogetsu can do today?" an idea, which I could use to deliver joy and comfort to people through flowers, popped up. Like arranging flowers while thinking about other people, if we support others through distance learning we might prevent any further spread of the virus and help overcome this terrible situation. Then, with the title of "OHANAMI (flower viewing) at SNS" we posted images of the works of the four Iemotos and video of my demonstration on Facebook and Instagram. As it is currently required not to go out, it would be my great pleasure if you were able to feel the arrival of spring even on screen and you

were encouraged and inspired. In addition, whilst nationwide events were cancelled one after another, I had a very precious opportunity where I was able to display my installation at the Nihombashi Takashimaya Department Store in March. While creating this work, I was comforted and energized by flowers.

Especially during this kind of situation, the power of humanity might be tested. It is most important to make efforts to avoid infection but do not get physically and mentally exhausted. What is important is to keep our strength of mind in this serious situation without panic.

I'm confident that there will be a day when this hardship will come to an end.

I know a Sogetsu ikebanist who reviewed the basic styles from the beginning at home, instead of arranging flowers outside or having a class, and posted the process on her social media platform. How wonderful it would be if we were all able to convert this epidemic into a positive action in that way. So please think about this cancellation positively that it is the best way towards the future, and forward-looking. Until then, let's protect the lives of all by postponing our sociable study times.



On March 17 in a continued voluntary restraint mood, the Iemoto's demonstration video was posted on YouTube under the title of "OHANAMI at SNS". Following this, the images of ikebana works by Iemoto Akane and three former Iemotos were released on the Sogetsu official social media sites.

(The Iemoto's demonstration video can also be viewed by scanning the QR code below.)



## Information

The members' site for the Sogetsu Teachers Association (STA)

## More convenient, more efficient

Six months have passed since the website of the Sogetsu School was renewed and went online. The website is now more actively utilized by the members than before as a forum where information on Sogetsu can be easily shared and obtained.

Following that, to facilitate the convenience of our members, the Sogetsu Teachers Association (STA) members' site, which only STA members are able to access, will be online at the beginning of June 2020.

The initial services, available from June, include various functions which enable the members to check their registered personal information, to read the So Newsletter (from No.262), and to keep up-to-date with news and announcements from Headquarters in Japanese, English and Chinese.

Later on, we will further improve this by adding additional features.

In order to access this site, password entry is required. The Headquarters will inform your password by post at the beginning of June. When you receive it, please keep it in a safe place. Details on how to use this site will be explained in the next So Newsletter No. 262 (June issue).

## ● Future schedule

## Beginning of June 2020

① In the So Newsletter No. 262 to be issued on June 1, details on how to use the members' site will be explained.

② Each member will receive their password to the members' site via Postal mail. Since this is a very important document, please keep it in a safe place.

\*If you do not receive your password, please contact Overseas Affairs Department.

③ The members' site for the Sogetsu Teachers Association (STA) will go live!

Please enter into the members' only website using your password and utilize various services!

## Point 1: Read So Newsletters.

You can read So Newsletters online starting with No. 262.



## Point 2: Check your registered information.

You can check your own personal information registered at the Headquarters.



## Point 3: Use as your membership card.

You may access the site on your smartphone and tablet. You can show the screen as your membership card.

